

Moodle アンケートの質問一括変換ツール

Visual Basic 版

1 ツールの概要

1.1 ツールの配布と利用について	1
1.2 動作環境について	1
1.3 ツールの機能について	1
1.4 入力ファイルについて	2
1.5 ツールの起動	3
1.6 XML ファイルへの変換	4
1.7 XML ファイルからの逆変換	4

2 入力ファイルの書式

2.1 2行モードと1行モード	5
2.2 コメント行	5
2.3 設問形式のキーワード	6
2.4 設問形式ごとの書式	6
2.4.1 多肢選択単一回答	6
2.4.2 多肢選択複数回答	7
2.4.3 多肢選択ドロップダウン	8
2.4.4 多肢選択単一回答 (評定)	8
2.4.5 多肢選択ドロップダウン (評定)	9
2.4.6 長文回答	10
2.4.7 短文回答	11
2.4.8 数値回答	11
2.4.9 改ページ	12
2.4.10 ラベル	12
2.4.11 情報	12
2.4.12 Captcha	12

3 オプションの設定

3.1 オプション設定画面	13
3.2 オプション設定	13
3.2.1 データの形式	13
3.2.2 設問番号の初期値	14
3.2.3 回答が必須か否か	14
3.2.4 項目の表示方向	14
3.2.5 「未選択」オプションを隠す	14
3.2.6 空の送信を分析しない	14
3.2.7 評価尺度の指定方法	14
3.2.8 短文回答フィールドのデフォルト値	15
3.2.9 長文回答フィールドのデフォルト値	15
3.2.10 HTML ビューア	15

Moodle アンケートの質問一括変換ツール VB 版

Moodle のアンケート (Feedback) モジュールでは、アンケートで使用する質問が含まれる XML ファイルをインポートすることができます。

本ツールは、質問と選択肢などを記述した Excel 形式のファイルを、Moodle でインポート可能な XML ファイルに変換します。

1 ツールの概要

1.1 ツールの配布と利用について

ツールは富山大学総合情報基盤センターの Web サイトで無償公開されています。

1.2 動作環境について

Visual Basic を利用して開発されたアプリケーションで、Windows PC で動作します。Excel 2007 以降が導入されていることが必要です。

1.3 ツールの機能について

- a. Excel ファイルを読み込み、アンケートの設問を Moodle の XML フォーマットに一括変換します。

A	B	C	D	E	F	G
アンケート名	自動生成テキスト					
※複数選択可能な質問	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
MC	選択肢として自分の使用できるものの数が多いほど	あり	なし			
選択肢	必須	表示方向	1を選択肢1のみに指定	2を選択肢2のみに指定	3を選択肢3のみに指定	4を選択肢4のみに指定
PC	?	Horizontal	Yes	Yes		
※複数選択可能な回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
MA	半角1文字のみの回答が可能です。複数ある場合はすべてを入力してください。	Windows 7	Windows 8.1	Windows 10	Mac	Linux
選択肢	必須	表示方向	1を選択肢1のみに指定	2を選択肢2のみに指定	3を選択肢3のみに指定	4を選択肢4のみに指定
		Horizontal	Yes	Yes	PC	あり
※複数選択可能な回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
MC	半角1文字のみの回答が可能です。複数ある場合はすべてを入力してください。	選択肢1にのみ指定	選択肢2にのみ指定	選択肢3にのみ指定	選択肢4にのみ指定	選択肢5にのみ指定
選択肢	必須	表示方向	1を選択肢1のみに指定	2を選択肢2のみに指定	3を選択肢3のみに指定	4を選択肢4のみに指定
		Horizontal	No	No	PC	なし



小テスト問題の一括作成.xml

b. アンケートの設問を Moodle に掲載した状態を擬似的に再現して表示するための HTML ファイルを同時に生成することができます。

	A	B	C	D	E	F	G
アンケート名	自動作成用テスト1						
#多肢選択単一回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	
MC	自宅などで自分自身で利用できるパソコンの持ち手ですか	ある	ない				
#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値	
PC	Y	Horizontal	Yes	Yes			
#多肢選択複数回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	
MA	そのパソコンのOSは何ですか。複数ある場合はすべて選んでください。	Windows 7	Windows 8.1	Windows 10	Mac	Linux	
#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値	
		Vertical	No	Yes	PC	ある	
#多肢選択単一回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	
MC	今後パソコンを購入する予定がありますか	1年以内に購入する	半年以内に購入する	1年以内に購入する	購入する予定はない	わからない	
#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値	
		Vertical	No	No	PC	ない	

Moodle アンケート一括変換

(PC)自宅などで自分自身で利用できるパソコンがありますか*

ある ない

そのパソコンのOSは何ですか。複数ある場合はすべて選んでください。(PC→ある)

Windows 7
 Windows 8.1
 Windows 10
 Mac
 Linux
 その他
 わからない

今後パソコンを購入する予定がありますか(PC→ない)

未選択
1月以内に購入する
半年以内に購入する
1年以内に購入する
購入する予定はない
わからない

c. Moodle からエクスポートされた XML ファイルを、本ツールで使用する形式の Excel ファイルに一括変換することができます。

小テスト問題の一括作成.xml

➔

	A	B	C	D	E	F	G
アンケート名	自動作成用テスト1						
#多肢選択単一回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	
MC	自宅などで自分自身で利用できるパソコンの持ち手ですか	ある	ない				
#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値	
PC	Y	Horizontal	Yes	Yes			
#多肢選択複数回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	
MA	そのパソコンのOSは何ですか。複数ある場合はすべて選んでください。	Windows 7	Windows 8.1	Windows 10	Mac	Linux	
#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値	
		Vertical	No	Yes	PC	ある	
#多肢選択単一回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5	
MC	今後パソコンを購入する予定がありますか	1年以内に購入する	半年以内に購入する	1年以内に購入する	購入する予定はない	わからない	
#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値	
		Vertical	No	No	PC	ない	

1.4 入力ファイルについて

表計算ソフトウェアを利用して下図のような表を作成し、Excel 形式で保存します。

	A	B	C	D	E	F	G
1	#アンケートの名称	自動作成用テスト1					
2	#多肢選択単一回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
3	MC	自宅などで自分自身で利用できるパソコンの持ち手ですか	ある	ない			
4	#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値
5	PC	Y	Horizontal	Yes	Yes		
6	#多肢選択複数回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
7	MA	そのパソコンのOSは何ですか。複数ある場合はすべて選んでください。	Windows 7	Windows 8.1	Windows 10	Mac	Linux
8	#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値
9			Vertical	No	Yes	PC	ある
10	#多肢選択単一回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	選択肢5
11	MC	今後パソコンを購入する予定がありますか	1年以内に購入する	半年以内に購入する	1年以内に購入する	購入する予定はない	わからない
12	#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す	空の送信を分析しない	依存先アイテム	依存値
13			Vertical	No	No	PC	ない

図 1.4 XML 形式に変換するための Excel 形式ファイルの例

書式の詳細については、2 ファイルの形式を参照してください。

1.5 ツールの起動

1. アプリケーションのアイコンをダブルクリックします。
2. 起動した際、「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか?」という警告メッセージが表示された場合は、「実行」をクリックしてください。



図 1.5 警告画面

「このファイルを開く前に常に警告する」のチェックを外すと、次からは表示されません。

3. 初回のみ、次のようなダイアログが出ます。「はい」をクリックしてください。

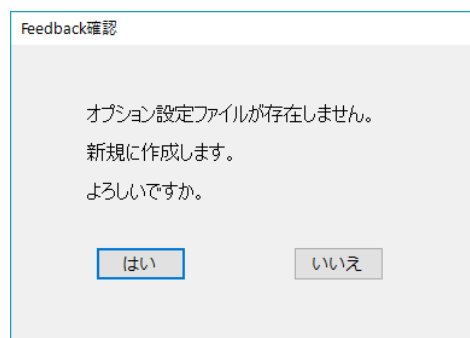


図 1.6 確認画面

4. アプリケーションの画面が表示されます。



図 1.7 アプリケーションの画面



オプションの設定画面を開きます。



オンライン・ヘルプを表示します。



バージョンなどを表示します。

1.6 XML ファイルへの変換

1. 保存してある Excel 形式ファイルをウィンドウ内にドラッグ&ドロップします。
2. Moodle の XML 形式に変換されたファイルが自動的に作成され、読み込んだファイルと同じ場所に保存されます。
3. アンケートの設問を Moodle に掲載した状態を擬似的に再現して表示するための HTML ファイルを同時に生成し、Web ブラウザを起動して表示します。

Moodle のフィードバック（アンケート）の編集画面で、「テンプレート」メニューから「質問のインポート」を選択し、XML ファイルをアップロードして読み込ませることにより、アンケートの質問を一括して作成することができます。

1.7 XML ファイルからの逆変換

1. XML ファイルをウィンドウ内にドラッグ&ドロップします。
2. 本ツールの Excel 形式に変換されたファイルが自動的に作成され、読み込んだファイルと同じ場所に保存されます。

2 入力ファイルの書式

2.1 2行モードと1行モード

1問の内容を2行で記載するモードと1行で記載するモードがあります。

1行モードでは、2行目のラベルや表示方向の設定欄の記入はできません。2行モードでオプション設定欄を空白とした場合と同様に、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。また、依存先ラベルを指定できないため、回答に応じた分岐機能を利用することはできません。

1行モードと2行モードの切り替えはオプションの設定画面で行います。

	A	B	C	D	E
1	#アンケートの名称	自動作成用テスト1			
2	#多肢選択単一回答	質問文	選択肢1	選択肢2	選択肢3
3	MC	自宅などで自分が使用できるパソコンがありますか	ある	ない	
4	#ラベル	必須	表示方向	「未選択」オプションを隠す 空の送信を分析しない	
5	PC	Y	Horizontal	Yes	Yes

図 2.1 コメントを含んだ2行モードの記入例

MD	あなたがこの授業に対して行った予習・復習の時間は平均すると週当たりどれくらいでしたか。	3/3時間以上	2/2時間以上	1/1時間以上	1/1時間未満	
MCR	あなたはこの授業の内容をどの程度理解しましたか。	5/じゅうぶんに理解した	4/かなり理解した	3/まあまあ理解した	2/あまり理解できなかった	1/ほとんど理解できなかった
MDR	この授業を履修する前と比べて、パソコンの利用に対するあなたの興味はどう変わりましたか。	5/非常に高まった	4/やや高まった	3/変わらない	2/やや低下した	1/非常に低下した
ESS	今回の授業を受けて感じたことを書いてください。不満だった点や今後改善すべき点あるいは良かった点について具体的に教えてください。					

図 2.2 コメントを含まない1行モードの記入例

2.2 コメント行

左端のセルが # で始まる行はコメント行となります。入力時には読み飛ばされます。

2.3 設問形式のキーワード

左端のセルに、設問形式を示すキーワードを記入します。大文字・小文字は区別されません。

MC	多肢選択単一回答	-	Multiple Choice
MA	多肢選択複数回答	-	Multiple Choice Multiple Answers
MD	多肢選択ドロップダウン	-	Multiple Choice Drop-down
MCR	多肢選択単一回答 (評定)	-	Multiple Choice (Rating)
MDR	多肢選択ドロップダウン (評定)	-	Multiple Choice Drop-down (Rating)
ESS	長文回答	-	Essay
SR	短文回答	-	Short Answer
NUM	数値回答	-	Numeric Answer
PB	改ページ	-	Page Break
LBL	ラベル	-	Label
INF	情報	-	Inframation
CAPAPTCHAhA	CAPTCHAhA		

キーワード欄が空白の場合はデータの終了と見なします。

2.4 設問形式ごとの書式

1行モードでは、ラベルや表示方向の設定欄の記入はできません。

2.4.1 多肢選択単一回答

質問文と選択肢

1. 左端のセルに MC と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。
3. 3列目以降のセルに選択肢を記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. 左端のセルにラベルを記入します。この質問の回答に依って異なる質問を表示する設定を行う際の依存先を指定するために必要です。それ以外の場合は不要です。
2. 必須回答とする場合に、2列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 選択肢の表示方向を水平方向に指定する場合は、3列目のセルに Horizontal または H と記入します。垂直方向とする場合は、Vertical または V と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。

4. 「未選択」オプションを隠す場合は、4 列目のセルに Yes または Y と記入します。隠さない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
5. 空の送信を分析しない場合は、5 列目のセルに Yes または Y と記入します。分析する場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
6. 6 列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
7. 7 列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.2 多肢選択複数回答

質問文と選択肢

1. 左端のセルに MA と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。「複数ある場合はすべて選んでください。」等の指示をしてください。
3. 3 列目以降のセルに選択肢を記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. 左端のセルにラベルを記入します。この質問の回答に依って異なる質問を表示する設定を行う際の依存先を指定するために必要です。それ以外の場合は不要です。
2. 必須回答とする場合に、2 列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 選択肢の表示方向を水平方向に指定する場合は、3 列目のセルに Horizontal または H と記入します。垂直方向とする場合は、Vertical または V と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
4. 「未選択」オプションを隠すは、空欄でかまいません。指定に因らず Yes となります。
5. 空の送信を分析しない場合は、5 列目のセルに Yes または Y と記入します。分析する場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
6. 6 列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
7. 7 列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.3 多肢選択ドロップダウン

質問文と選択肢

1. 左端のセルに MD と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。
3. 3 列目以降のセルに選択肢を記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. 左端のセルにラベルを記入します。この質問の回答に依って異なる質問を表示する設定を行う際の依存先を指定するために必要です。それ以外の場合は不要です。
2. 必須回答とする場合に、2 列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 選択肢の表示方向は意味を持ちません。空欄でかまいません。
4. 「未選択」オプションを隠すは、空欄でかまいません。指定に因らず Yes となります。
5. 空の送信を分析しない場合は、5 列目のセルに Yes または Y と記入します。分析する場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
6. 6 列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
7. 7 列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.4 多肢選択単一回答（評定）

質問文と選択肢

1. 左端のセルに MCR と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。
3. 3 列目以降のセルに、選択肢を記入します。

オプションの設定画面で「評価尺度の指定方法」として「値を記載」を指定している場合は、

例 5/じゅうぶんに理解した 4/ほぼ理解した ...

のように、評定値と選択肢を / で区切って記入します。

オプションの設定画面で「評価尺度の指定方法」として「自動設定」を指定している場合は、

例 じゅうぶんに理解した ほぼ理解した ...

のように、選択肢のみを記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. 左端のセルにラベルを記入します。この質問の回答に依って異なる質問を表示する設定を行う際の依存先を指定するために必要です。それ以外の場合は不要です。
2. 必須回答とする場合に、2列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 選択肢の表示方向を水平方向に指定する場合は、3列目のセルに Horizontal または H と記入します。垂直方向とする場合は、Vertical または V と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
4. 「未選択」オプションを隠す場合は、4列目のセルに Yes または Y と記入します。隠さない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
5. 空の送信を分析しない場合は、5列目のセルに Yes または Y と記入します。分析する場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
必須回答となっている場合は、指定は無視されます。
6. 6列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
7. 7列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.5 多肢選択ドロップダウン（評定）

質問文と選択肢

1. 左端のセルに MDR と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。
3. 3列目以降のセルに、選択肢を記入します。

オプションの設定画面で「評価尺度の指定方法」として「値を記載」を指定している場合は、

例 5/じゅうぶんに理解した 4/ほぼ理解した ...

のように、評定値と選択肢を / で区切って記入します。

オプションの設定画面で「評価尺度の指定方法」として「自動設定」を指定している場合は、

例 じゅうぶんに理解した ほぼ理解した ...

のように、選択肢のみを記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. 左端のセルにラベルを記入します。この質問の回答に依って異なる質問を表示する設定を行う際の依存先を指定するために必要です。それ以外の場合は不要です。
2. 必須回答とする場合に、2列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 選択肢の表示方向は意味を持ちません。空欄でかまいません。
4. 「未選択」オプションを隠すは、空欄でかまいません。指定に因らず Yes となります。
5. 空の送信を分析しない場合は、5列目のセルに Yes または Y と記入します。分析する場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
必須回答となっている場合は、指定は無視されます。
6. 6列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
7. 7列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.6 長文回答

質問文と選択肢

1. 左端のセルに ESS と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。

※ 1行当たりの文字数と行数を指定しなかった場合は、それぞれ 80 文字および 6 行となります。

ラベルや表示方向などの設定

1. ラベルは不要です。
2. 必須回答とする場合に、2列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 3列目のセルに1行当たりの文字数を記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
4. 4列目のセルに行数を記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
5. 6列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
6. 7列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.7 短文回答

1. 左端のセルに SR と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. ラベルは不要です。
2. 必須回答とする場合に、2列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 3列目のセルに入力欄の文字幅を記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
4. 4列目のセルに最大文字数を記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
5. 6列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
6. 7列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.8 数値回答

1. 左端のセルに NUM と記入します。
2. 隣のセルに質問文を記入します。
3. 3列目のセルに開始値を記入します。
4. 4列目のセルに終了値を記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. ラベルは不要です。
2. 必須回答とする場合に、2列目のセルに Yes または Y と記入します。必須回答としない場合は、No または N と記入します。空欄とした場合は、オプションの設定画面で指定したデフォルト値が適用されます。
3. 6列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
4. 7列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.9 改ページ

左端のセルに PB と記入します。

ラベルや表示方向などの設定

すべて空欄とします。

※ 質問に対する回答に応じて異なる質問を次に表示する場合は、質問の直後に必ず改ページを挿入する必要があります。

2.4.10 ラベル

1. 左端のセルに LBL と記入します。
2. 隣のセルにラベルの内容を記入します。

ラベルや表示方向などの設定

1. 6 列目のセルに依存先の質問のラベルを記入します。（依存先がない場合は不要です。）
2. 7 列目のセルに依存する選択肢を記入します。（依存先がない場合は不要です。）

2.4.11 情報

1. 左端のセルに INF と記入します。
2. 隣のセルに項目のラベルを記入します。（空欄としても構いません）
3. 3 列目のセルに情報のタイプの番号を記入します。

タイプ 1: 回答時間 2: コース名 3: コースカテゴリー

※ 匿名回答の場合、「1:回答時間」は利用できません。

ラベルや表示方向などの設定

通常はすべて空欄とします。

2.4.12 CAPTCHA

左端のセルに CAP と記入します。

ラベルや表示方向などの設定

すべて空欄とします。

3 オプションの設定

3.1 オプション設定画面




右上の  ボタンをクリックすると、オプション設定画面が開きます。

図 3.1 オプション設定画面

2行モードでラベルや表示方向などの設定行のセルが空欄の場合および1行モードの場合に適用される値を設定します。

項目を設定し、[OK]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

「初期値に戻す」ボタンをクリックすると、デフォルトの設定に戻ります。

3.2 オプション設定

デフォルト値を（ ）内に記します。

3.2.1 データの形式

入力データの形式が1行モードか2行モードかを指定します。（2行）

3.2.2 設問番号の初期値

XML ファイルに記入される ITEMID (問題番号) の開始値を指定します。

本ツールで出力された複数の XML ファイルを結合して一つの XML ファイルにする場合などを除いては、初期値のままです。 (101)

3.2.3 回答が必須か否か

設問に対する回答が必須か否かを指定します。 (必須でない)

3.2.4 項目の表示方向

多肢選択問題の選択肢の表示方向を指定します。 (垂直)

3.2.5 「未選択」オプションを隠す

MC、MCR の場合に、「未選択」オプションを隠すか否かを指定します。 (No = 隠さない)

3.2.6 空の送信を分析しない

「空の送信を分析しない」か「する」を指定します。 (No = する)

3.2.7 評価尺度の指定方法

MCR、MDR の場合に、「評価尺度の指定方法」を指定します。 (自動設定)

「自動設定」を指定した場合は、「評価尺度の開始値」と「評価尺度の順」を指定します。

例えば、選択肢の数が 5 の場合、「評価尺度の開始値」を 5、「評価尺度の順」を「降順」と指定すると、

じゅうぶんに理解した	かなり理解した	まあまあ理解した
あまり理解できなかった	ほとんど理解できなかった	

のように、選択肢のみを記入すると、自動的に

5/じゅうぶんに理解した	4/かなり理解した	3/まあまあ理解した
2/あまり理解できなかった	1/ほとんど理解できなかった	

のように入力したものと扱われます。

「値を記載」を指定した場合は、

例 5/じゅうぶんに理解した 4/ほぼ理解した ...

のように、評定値と選択肢を / で区切って記入します。

3.2.8 短文回答フィールドのデフォルト値

入力欄の文字幅と入力可能な最大文字数を指定します。(20, 10)

3.2.9 長文回答フィールドのデフォルト値

記入欄の幅(1行当たりの文字数)と行数を指定します。(50, 10)

3.2.10 HTML ビューア

アンケートの設問を Moodle に掲載した状態を擬似的に再現して表示するための HTML ファイルを同時に生成するか否かを指定します。また、変換後に Web ブラウザを起動して HTML ファイルを表示するか否かを指定します。(する、する)